

学校だより ミモザ 特別号

令和2年2月14日
熱海市立桃山小学校
校長 太田 和夫
担当 佐藤 正和

☆過日ご協力いただいた学校診断評価のまとめについて、ご報告いたします。

令和元年度 学校診断評価2 まとめ

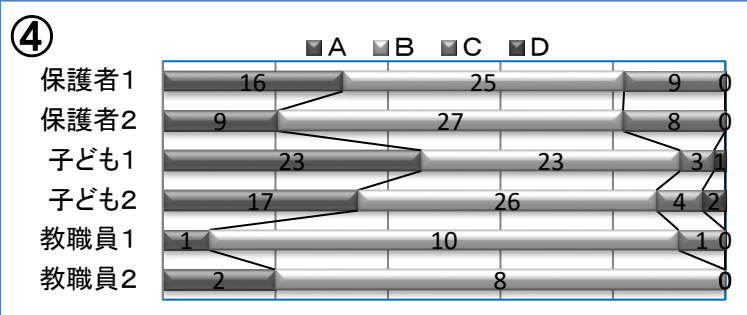
☆A→よい・ある・そのとおり B→どちらかというよい・どちらかというと思う C→どちらかという悪い・どちらかというと思わない D→悪い・ない・思わない

☆前期を1、後期を2として、それぞれの変容を比較できるようにしました。

☆それぞれの結果をもとに、「A・B」と「C・D」の境界に着目して考えました。おおむね80%を目安に、特徴的なものについて、よい評価・成果と考えられるものを○、課題がみえるものを●としました。「→」以下には、今後の対応や具体的な手立てについて太字で記しました。

重点教育① キャリア教育について

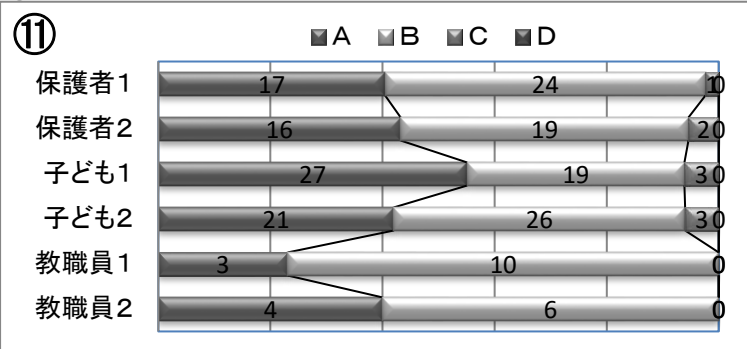
④お子さん(あなた)は、学習内容が定着している。



・保護者・子どもともに、A評価の割合が下がっている。

→おおむね力がついていると見ることもできるが、学びの実感や満足感を味わえるような指導の工夫を重ねていきたい。日々の授業や家庭学習の見取りを一層ていねいに行うとともに、校内研修の充実を図っていく。

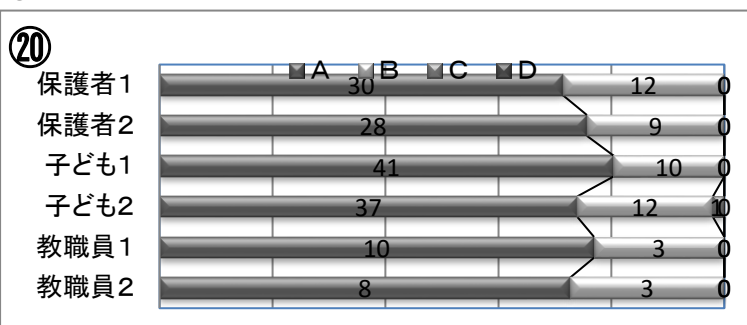
⑪桃山小は、学力向上のための努力や工夫をしている。(子ども→自分の力ややりたいことにあった学習を…。)



○年間を通しておおむねよい評価が得られている。

→継続。これが上記④の学習内容の定着につながるよう、今後も客観的な数値も意識しつつ、努力や工夫を重ねていく。

⑳桃山小のキャリア教育(夢学校・夢先生)は有意義だと思いますか。(子ども→ためになった。)

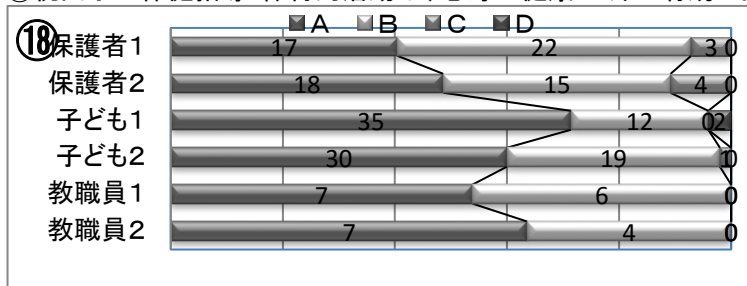


○年間を通して高い評価が得られた。保護者や地域の皆様のお力添えもあって、成果が得られている。

→継続。本校の特色ある教育活動の一つでもあり、今後も活動のねらいや子どもたちに付けたい力を意識して取り組んでいく。

重点教育② 健康安全教育について

⑱桃山小の保健指導・体育的活動は、心身の健康づくりに有効である。(子ども→ためになった。)

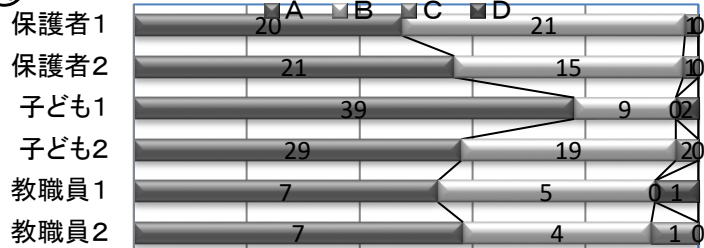


○年間を通して高い評価を得られた。

→継続。秋に行われた体力テストの結果からも、桃小の体力は高いレベルにあることが分かった。今後も運動の質を上げ、体力を高めるとともに、進んで運動に取り組もうとする意欲の向上を図っていく。

⑨桃山小の食育指導(給食での指導等)は適切である。(子ども→ためになった。)

⑬



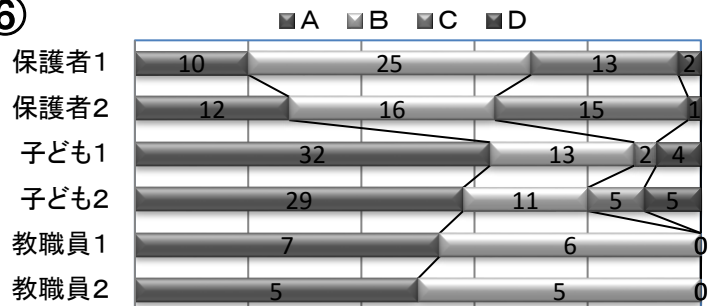
○年間を通して高い評価を得られた。

→継続。安心安全な学校生活を送れるよう、今後も子どもの実態に合わせて柔軟な指導を心がけていく。

重点教育③ 読書教育について

⑥お子さん(あなた)は読書をよくする。

⑥



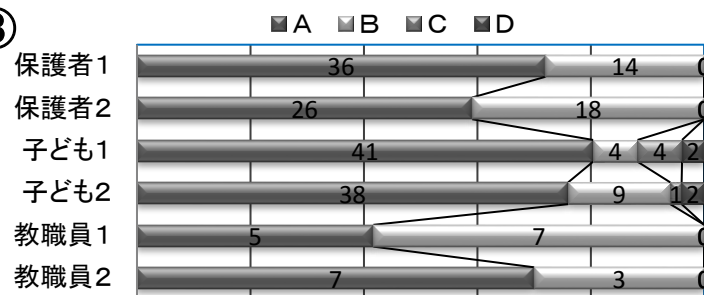
●保護者の評価が7割前後である。

→読書の取り組みについては継続していくが、今後も家庭との連携を図りながら進めていきたい。学年に合った本の選択や、家庭読書の日の本の読み方など、無理のない範囲で読書力が身につくよう、工夫をしていく。

重点教育④ 道徳教育について

③お子さん(あなた)は友達と仲よく遊んでいる。(子ども→仲のよい友達がいる)

③

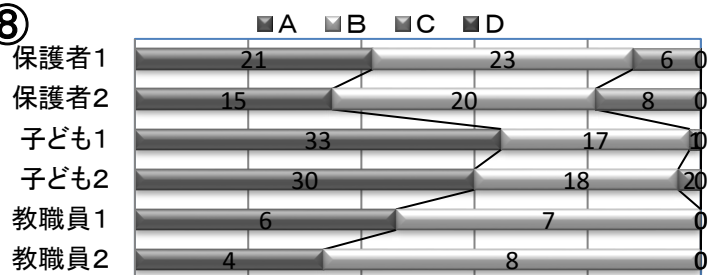


○年間を通して高い評価が得られた。

→継続。すべての教育活動において道徳教育を心がけながら、よりよい友達関係づくりができるよう見守っていく。

⑧お子さん(あなた)は家や地域であいさつをしている。

⑧

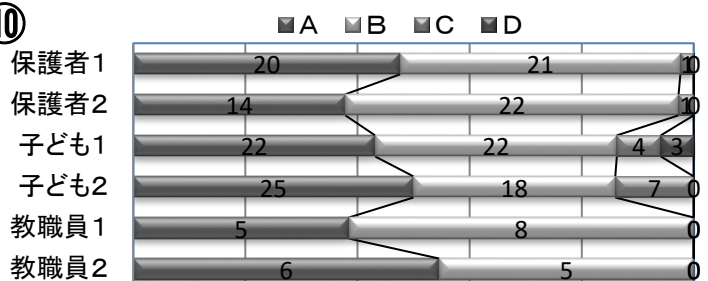


・よい評価が8割を超えてはいるが、C評価も見られる。

→取り組みについては継続して行っていく。おもてなしの心といった「あいさつ」をすることの意味・意義を考えさせながら、子どもたちから自然にできるあいさつを指導する。特に友達や保護者、先生以外の方々へのあいさつの大切さの指導を重視する。

⑩桃山小の子どもは、思いやりの心が育っている。(子ども→思いやりの心をもって行動)

⑩

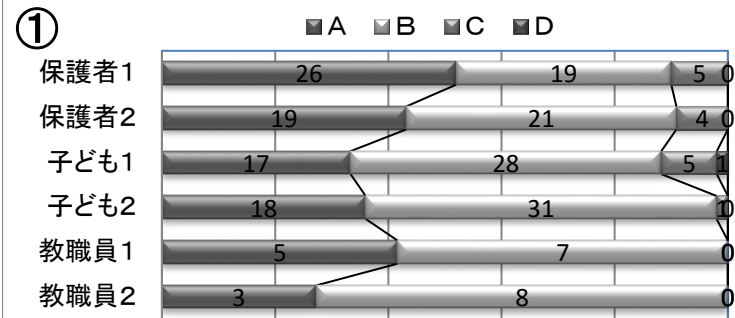


○昨年度同様、年間を通してよい評価が得られた。本校の重点目標の一つでもあり、これまでの積み重ねの成果であると考え。

→全体での指導を継続しつつ、個別に対応していく。

その他の項目について

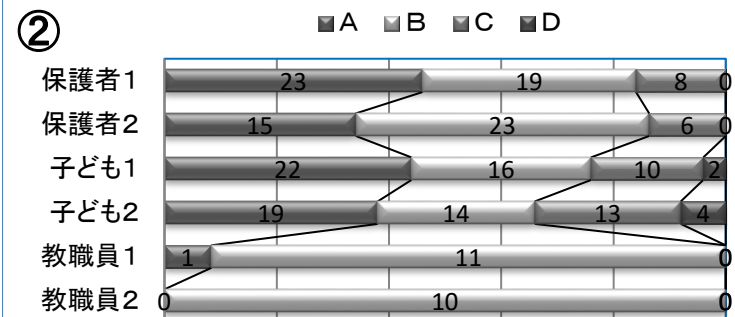
①お子さん(あなた)は学校へ行くのを楽しみにしている。



○年間を通して高い評価が得られた。

→継続。教職員間で情報を共有し、今後も個の見取りを大切にしてい。達成感・成就感を味わたる指導を継続し、自己肯定感を養う。CやD評価の児童に寄り添っていく。

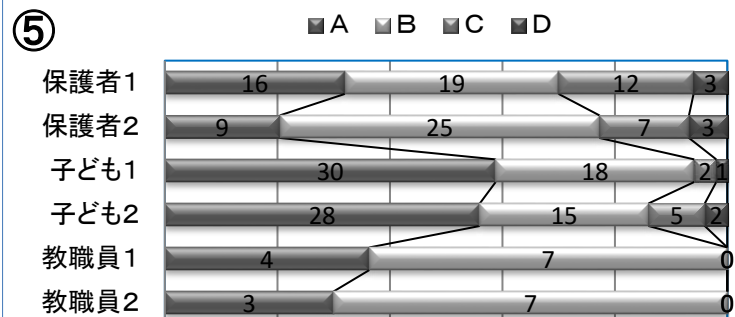
②お子さん(あなた)は学校や友達の話をよくする。



・AB評価は高いが、子どもについては、CD評価の割合が高め。

→今後も学校からの情報発信による話題提供を行いながら、継続的に指導を積み重ねていく。家庭との連絡を密にして情報交換をしていく。

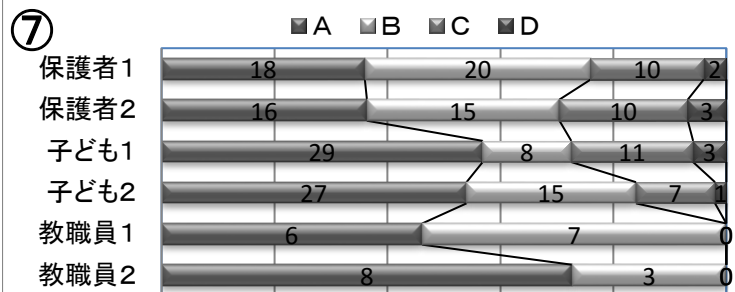
⑤お子さんは宿題や家庭学習に進んで取り組んでいる。(子ども→忘れずにやる)



●保護者評価が8割を下回っている。

→きちんと行うことの指導をもとにしながら、生活リズムの指導と合わせて、家庭学習の大切さを考えさせていく。個別指導に重点を置き、家庭と連携を取り、協力しながら進めていく。個に応じた内容を心がけていく。

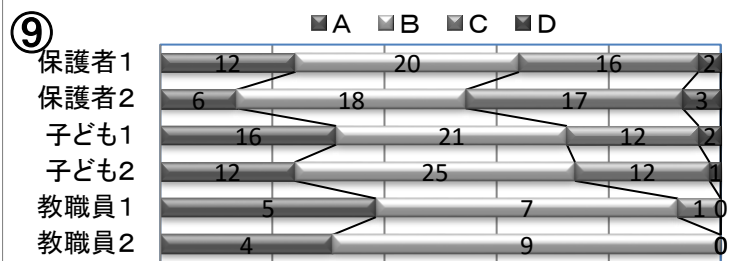
⑦お子さん(あなた)はよく運動(外遊び)をする。



●AB評価は8割前後だが、他の項目と比べてやや数値が低い。

→環境面の課題もあるが、外遊びや外での活動の楽しさを味わたらせる指導を積み重ねていき、運動に親しむ態度を育てていきたい。

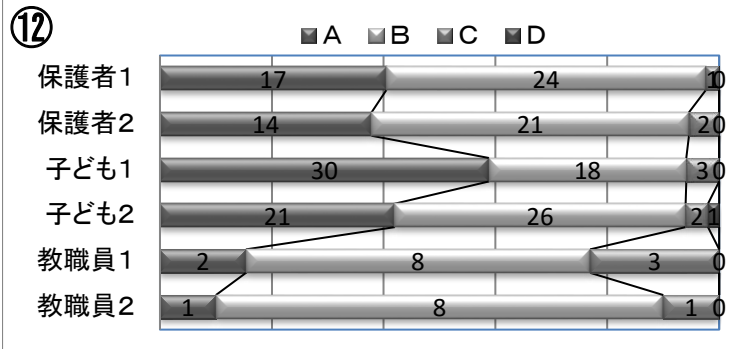
⑨お子さん(あなた)は家でお手伝いを進んでおこなっている。



●例年低い傾向にある項目だが、今年度も6割程度である。

→夏休みや冬休み前にお手伝いをする指導をしているが、継続にまでは至っていないようである。道徳の時間や学級活動でも、家庭や家族の視点を取り上げながら、定着に向けて工夫を重ねていく。

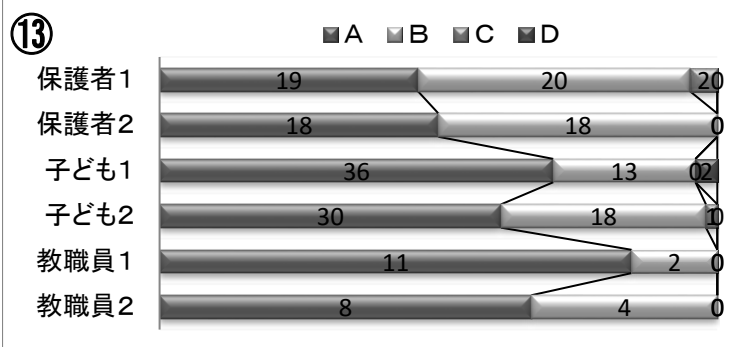
⑫桃山小は教育環境が整っている。



○年間を通してよい評価が得られた。施設面のメンテナンスが必要な部分は、引き続き、市に改善を働きかけていく。

→継続。細かな補修については、その都度対応していくとともに、桃山小の子どもたちのためにどのような設備や教材が必要なのかを考え、市への要求をしていく。

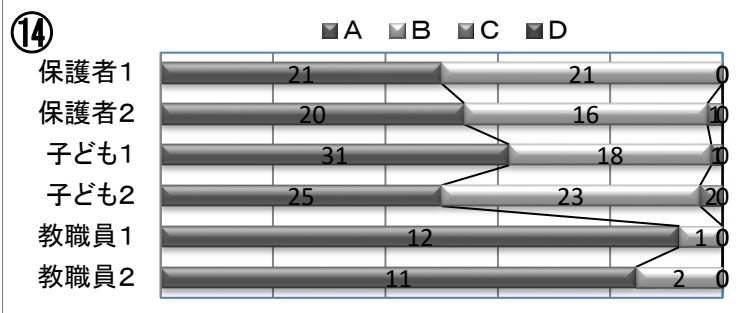
⑬桃山小は地域とともに教育活動を進めている。(子ども→地域とのかかわりを大切にしている。)



○年間を通して高い評価が得られた。キャリア教育を進める中で、地域の人・こと・ものとのかかわりを大切にしてきた成果と考える。

→継続。保護者・地域の皆様の日頃のご協力に感謝するとともに、今後も、地域教材の発掘と協力体制づくりに努めていく。

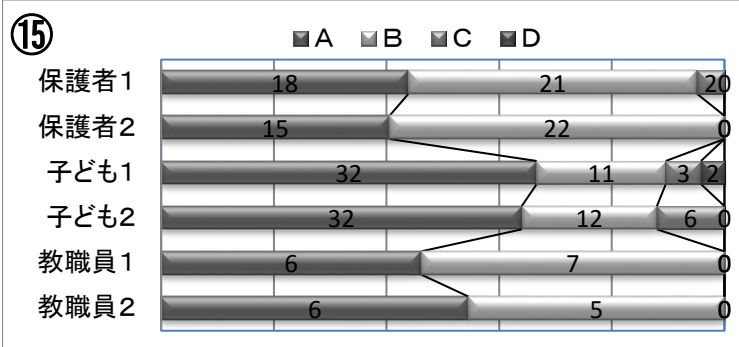
⑭桃山小の職員の対応は親切で気持ちがよい。(子ども→親切にしてくれる。)



○年間を通して高い評価が得られた。

→継続。今後も保護者・地域の声を大切にし、家庭や地域と連携・協力していく。児童理解を深める上で大切な部分であるだけに、これからも常に意識して努めていく。

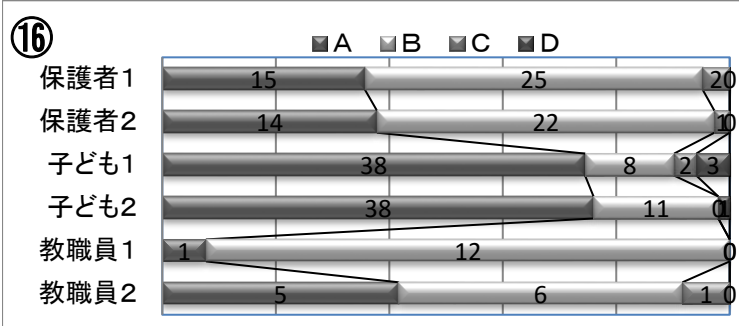
⑮桃山小の学校だよりや学年だよりは充実している。(子ども→お家の人はおたよりを必ず読む。)



○年間を通して高い評価が得られた。

→継続。学校からの発信を受け止めていただけていることに感謝申し上げるとともに、今後もおたより類の充実と精選に努める。また、メールの活用やHPを活用した情報発信も続けていく。

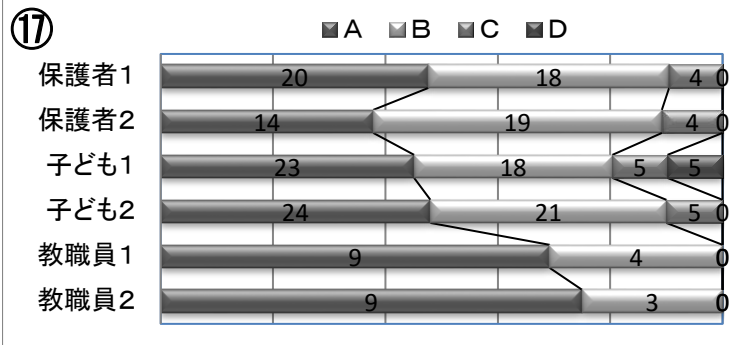
⑯桃山小の学校行事は時期や内容が適切である。(子ども→楽しい行事がたくさんある)



○年間を通してよい評価が得られた。できる限り工夫して設定したい。

→継続。こちらも保護者・地域の皆様のご支援やご協力があつて成り立っていることに感謝し、今後も「子ども」を中心に、内容の精選や時期等の設定を工夫していく。また、保護者の皆様の思いにも配慮しながら行事を計画していきたい。

⑰「桃山小学校は…」と自慢したくなるときがある。



○年間を通してよい評価が得られた。
本校の教育活動等について理解を示していただいていると考える。

→継続。子どもが次のステップに進んだときに力が発揮できるよう、力を付けていきたい。

★保護者・子ども・教職員の3者を評価者として設定し、それぞれの比較から実践を振り返り、改善を図ることをめざしました。また、本校の進める4つの重点教育を中心にしてまとめることで、桃山小学校の目指している方向性の理解を得ながら、保護者・子ども・学校の思いを合わせてよりよい教育活動の推進がなされていくと考えました。

★前期と後期を比較しての検証を行いました。また項目によっては過年度の様子と比較しながら分析しています。評価をもとにした手立てにより、どのように改善が図られたのかを確認することが、よりよい教育活動の実践につながると考えました。

☆今回の学校診断評価では、全体として「よい」とする項目が多かったです。今年度の桃山小学校の教育活動に対して、多くの保護者の方々に「よい」とする評価をいただけたと考えます。これまでの学校関係者評価の結果をふまえた手立ての工夫や実践が成果となっていると考えます。また、保護者や地域の皆様のご支援やご協力があってこの成果が出ていることに感謝いたします。

☆「よい」とする評価が多いことに満足せず、「C」「D」評価の背景を探り、家庭と連携しながら個に寄り添う支援が必要であることは言うまでもありません。今後もその姿勢で努めてまいります。

文責：教頭 佐藤

【桃っ子を考える会】

- 令和2年2月6日(木) 14:30～15:30 本校会議室にて開催
- 参加者 パネラー(学校関係者評価委員の皆様)・地域参加者・保護者・本校職員
- おもな内容
 - ・本年度の児童の様子をスライドで紹介。
 - ・教育アンケートの内容をもとに、「本校教育活動の実践・課題」について説明。
 - ・関係者評価委員の皆様から、参観の様子も含め、桃っ子の表れについて。
 - ・地域の方々、保護者の方々も含め意見交換。

……今後ともよろしくお願いいたします。